

県中地域摂食嚥下ケア体制整備事業概要

【現状】

- 要支援・要介護者の高齢化
- 在宅療養者の増加
- 肺炎による死亡率が高い
- 高齢者の低栄養、サルコペニア、フレイルの健康問題

<高齢化率>

	全国	県	県中
※1	H26: 26.0%	27.7%	25.5%
	H27: 26.7%	28.6%	25.8%
	H28: 27.3%	29.5%	26.6%

<要介護(支援)認定者率>

	県	県中
※2	H25: 18.7%	17.8%
	H26: 18.7%	17.6%
	H27: 19.0%	17.8%

<肺炎の標準死亡比(SMR,H20~24年)>

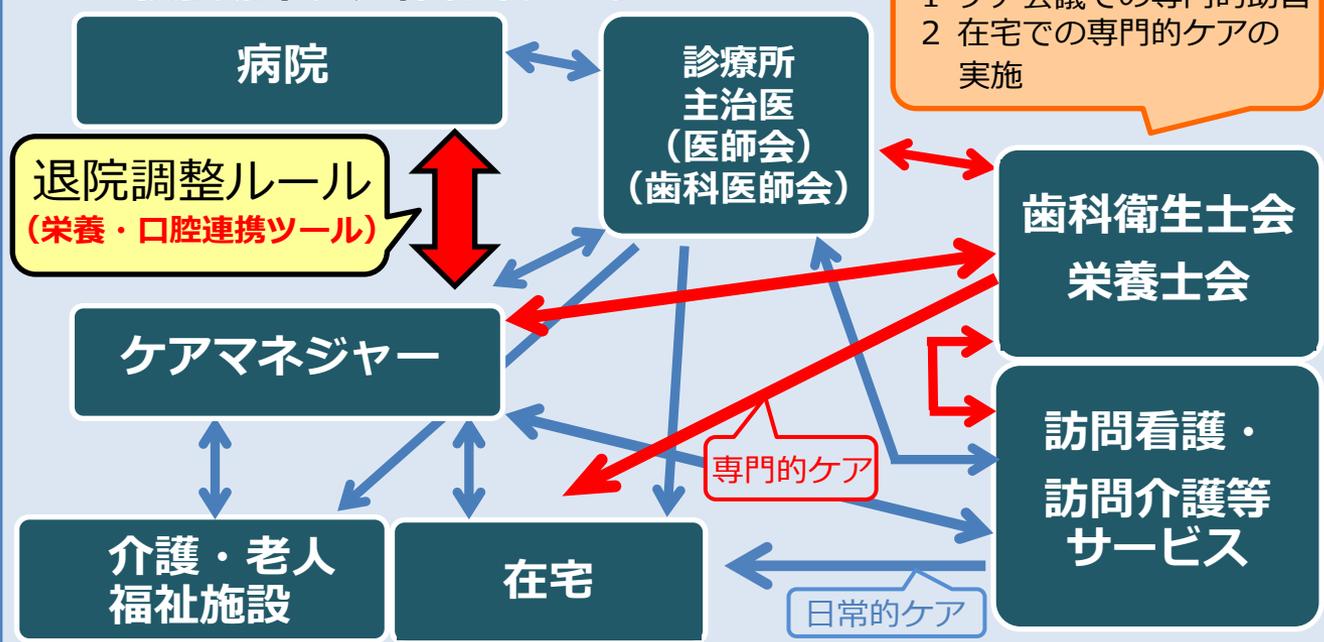
	県	県中
※3	男性: 96.7	87.6
	女性: 97.0	91.6

【課題】

- 摂食・嚥下に問題を有した口腔及び栄養管理の必要な高齢者が増加
- 誤嚥性肺炎を予防するための口腔ケア体制整備が必要
- 病院・施設間の移動、在宅医療への移行による栄養管理の情報共有が必要

【目標】 高齢者等が要支援・要介護状態となっても、最後まで食べることを楽しみながら、住み慣れた地域で安心して過ごすことができる。

◆ ◆ 摂食嚥下ケア体制イメージ ◆ ◆



<事業の概要>

- ①連携ツールの策定・運用（退院調整ルールのなかで活用）
- ②食形態の平準化
- ③口腔と栄養のケア体制整備
- ④人材育成(スキルアップ)

<データ出典>

※1：福島県介護保険室「平成29年度新任認定調査員研修会資料」、県中(H26.27)のみ県中保健福祉事務所「業務概況」(H26はH27.4.1現在値、H27はH27.9.1現在値)
 ※2：県中保健福祉事務所「業務概況」(H25はH26.4.1現在値、H26はH27.4.1現在値、H27はH27.9.1現在値)
 ※3：県中保健福祉事務所「県中地域診断シート」

<支援> 県中保健福祉事務所・郡山市保健所

市町村